

それでも通じない…そんなときは

① コミュニケーションボードを利用しましょう。

お金を払ってもらう場合 →
コミュニケーションボードの
「お金」を使って代金を告げます。



←何か困っている場合
「何をしたいの?」の絵を指差してもらいます。

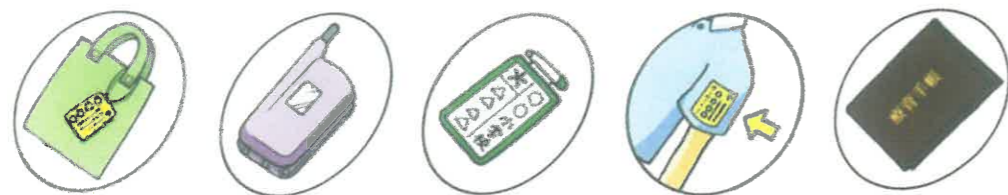


連絡先がわからなくて困った場合 →
連絡先がわからなくて困ったら、「あなたの…?」を
一つずつ指差して聞いてください。



② 連絡してください。

本人の自宅など保護者の連絡先が記入してあるものを持っていませんか?
名札、療育手帳、携帯電話など…確認してみてください。



③ 地域の連絡先にご一報ください。

保護者などに連絡のつかない場合は、身近な関連機関にご一報ください。
※もしものときのために、お近くの連絡先を記入しておくとう便利です。

- ・社会福祉協議会 ()
- ・育成会 ()
- ・福祉事務所 ()
- ・警察署 ()
- ・地域療育等支援事業実施事業所 ()

知的障がいのある人のためのセーフティーネットづくりを目指して

第2版 発行：2017年6月24日
発行者：プロテクション・アンド・アドボカシー・いしかり
〒061-3251 石狩市樽川519番地2 石狩市障がい者支援センター内 P&Aいしかり

たのんます!

知的障害のある人の

サポーターのお店。

人は誰でも、住み慣れた街で生活することを望んでいます。
でも、今の世の中は危険がいっぱい。難しいルールがいっぱい。
まして知的障害のある人には、わからないことがたくさんあります。
そんなとき、知的障害のある人にはサポーターが必要なんです。
コンビニで働くあなたにもサポーターになってくださいませんか?
どうぞよろしく、たのんます!

こんな経験ありませんか?



変な人? 困った人? 怖い人?

→ いいえ、そんなことはありません

知的な障害のある人かもしれません。
知的な障害のある人は、発達に遅れがあるために、
うまく社会に適応できないことがあります。



知的障害のある人にはこんな人たちもいます

コミュニケーションが
うまくとれない



難しいことや危険が
わからない



どうしていいかわからないとき
パニックになる



こんな時は、どうしたらいい？

こんなお客さんに困ったら…

やさしいことばでゆっくりと 話しかけてください

文字・絵・身ぶり・コミュニケーションボードなどを使って対応してください。
力づくで押さえつけるのは逆効果です。

1

お店の商品を
見ているのだけれど…



乱暴にさわったり並べ変えたり



冷蔵庫の扉を開けたり閉めたり



知的障害のある人は、
特定の品物や、商品の並べ方、
シールなどに
こだわりがある人もいます。



「買わないものには
さわらないでね」

2

ATMやコピー機の
まわりで遊んでいる…



店内を飛び回ったり



コピー機で遊んだり



やさしい言葉でゆっくりと
話しかけてください。
まわりに迷惑をかけるようなら
保護者などに連絡してください。



「じつは、
遊ばないでね」

3

なにか
困っているのかな…



キョロキョロしたり



レジ前でもじもじしたり



もしかしたら迷子かもしれません。
トイレを探しているのかもしれない。
どこでお金を払ったらいいのかわからないのかもしれない。
やさしく声をかけてください。



「戻したんですか？」
「なにかお探しますか？」

4

お金を
払っていないのこ…



袋を開けて食べたり



お金を払わずに持って帰ったり



お金を払うということ自体が
わからないかもしれません。
連絡先などが
わかるものを持っていたら
そこに連絡してみてください。



「お金を払ってください」